2009年12月25日発行(第4金曜日発行)

き X

、利生町務こ催貝平 の+ 0 活月 伐 採 木 **ത** 利 活 検っ 用

し

すつ上木・川は ∘いやを連 て地活携小平 検域用し貝成 討のす、川二 す活る鬼の十 るカこ怒沿年 を助よ小治 柵てた止ワ

置うの発市事

た利便し〜所のし川成 の用の伐協鬼討し伐十 でに向採働怒会た採ー ∘木年 用十 に日 関へ す木 る〜 討鬼 会怒 <u> 니</u>

このと川川八 と一に・自月 目とり貝体下 的な、川へ館 にる地か十河 設よ域ら九川

を・ をも丸策ラ氏さ 整利太とノ家く川 備用をしギゆら市 中出活てクラ市町 で来用伐管ゆーの 利

ま取っ活沿へ九駆 活 しりあ用し鬼日け又

た組ずしに怒に みまてお川宇十当 にや試い河都一日 つ一行て川宮月は いを的、敷市二 て見に伐左桑十検 説学設採岸島八討 明、置木遊地 をそしを歩先二に しのた利道 十先 活

地伐

で採

作を

つ

7

あ

ず

ま

を

Tel 0296-25-2161 HPアドレス

用

 \blacksquare

指

لح

真ち

岡木

エの

業会

校協

実力

http://www.ktr.mlit.go.jp /shimodate/



木 \succ **の** 分 の 新 聞 ٤ 木 発 行 国土交通省 下館河川事務所 きぬ·こかい情報発信局 茨城県筑西市二木成1753

1=

いに川た木道こ ま配管りや内で も活性たがと検まの二 も自るとと貝 の然な な川

するし採理う

○立、木地パ

ちべをLl

入ン利にク

りチ活進内

防と用入っ

止しし防力

育た

、作○ず都成

ま宮二

や市十

を島年

試地十

行先一

的一月

に鬼ニ

製怒十

作川八

・左日

置し二

しに十

ま

設岸

ㄴ 桑

け散利お辺完とり製たあ宇平

だのてと水

れ歩用しの成し

ば時すて楽して真に

幸のる実校た参岡は

い休こ施 ニー加工

で憩とさのあし業

す場がれ活ずて高と

◦所出る動ま頂校ち

等来種場やきの木

とる々所しま生の

しとのにはし徒会

て共活面、た十二

利、拠、き

用皆点年よ

い様と間は

た方しをら

∘人が

が指

実導

習に

教あ

十ク十用十指らい始で ∘し上ゴ川おう 一状年状一しなくしは な支ミ管い伐 が障の理て採 らと不施、木 計な法設洪と 画っ投を水は 的て棄見の にいのる流鬼 伐る温のれ怒 採樹床にの川 し木に死阻 たをな角害小

を環どなるの

採 ○意 木 と利が取

①推活経り

交に箇平ス平木平進用過組検 言境河つ樹河こ

換つ所成ト成利成をのしを討

ま告 年況度況年 る中て 拡で一こ 伐報度 採告伐 大 、年の 伐 【下妻市】 小貝川ふれあい公園

し及 たび

内に丸太椅子を設置

境の 出 棄 花自 が し 絶 守 水山 連浮川 絡いで年 先て大末 0 へい量・ 通るの年 報状油始 し況がにをう てを流鬼 見 く見れ怒 だかて川

依

ゴ

Ξ

の

不

法

投

やや物法

魚土か投

な壌ら棄

どを有さ

の汚害れ

物こ

質と

がに

流よ

れり

き

物

の

生

息

環

境

が

利

用

堤

防

袁

 \circ \mathcal{O}

処

域

0

小

貝

然

環

境

行て

い報

さけい・ いまた小 ま ∘しり貝 た、川 ら魚及 、がび ら 左大そ 記量の のに支

魚が大量に浮いている。 大量の油が流れている

00

ま行境川い学いいンをてめ問に失な すい意事て生まにテ初種、題よ 、識務い等す協ィめ々不がる 不の所まに。カア、の法発不 法啓にすよ 頂の地対投生法 き方域策棄し投 投発お。る 不 、々のををま棄 棄、い の河て 法 毎に自実防す物 投 抑川も 回 、治施ぐ 制パ、 棄 多年会した 禁 く間やてめ びロ板 止 のを企いに 発|や の ゴと業ま、 看 見ル広 ミお等す地 板 にの報 をし多∘域

ŧ

回てく

め施で下設又収ゴの小連そ多④

لح

いを環河頂中て拾ラ生したの金喪適失物川棄不

て等の館置、しミボ学携のく税の快喪植河廃がん走

願川 いづ まり すの 。た だにな さはお 11 . .

く合

∘最夜

寄間

ι) **.**

の休

消日

防で

にき

皆れ

様い

御で

協、

力快

よ適

ろな

くし

おい

「もう、いくつ寝 ると、お正月、 お正月には、 凧上げて・・・」



新春千姫凧揚げ会 2010年1月10日

国連 下土絡

0 館交先 三河通**山** 川省 事 二務 五所 画 六 課

県 0 南 0 西 表

城

県

二県 県 民 タ四タ \smile 九 三平 日 四 の 24

セ 平 の H

ᆝᆽᄁ = 七 四日

県

用復不

がす法

かる投

かた棄

りめに

まによ

すはり

。、失

多わ

大れ

なた

時自

間然

や環

労境

力等

やを

費回

努実誌

署 • 連 交絡 番が へつ 連か 絡な しい て場

をスか鬼 称モる栃 Wフでン乳木レ<mark>モ</mark> 味トけ怒 わアの川 iリすの飲県モ っに折上 りでの牛<mark>牛</mark> ており流 i 百 み立に域 p 科 を 。 加無乳へ<mark>を</mark> てちはへ は寄、栃 d 典 え脂メレ 如りス木 aウ 色牛カン でたパ宇 く乳 | ぎて すだや都 ニキ かきコ宮 よペ 色生社う りデ し乳がに !、ン市 今ビ周 引ィ たに生ゅ 話二辺 飲甘産う力 題エし 料味し〜 のンに のとてと

味ス出

通レいは

を ご 皆 怒 Ш の ∃

た域 い護点まリ先の ∘のこ光者としスン河平 恒のにのしたマに川成 例イ包方て ∘スお敷二 のべま々い点のいに十 インれもる灯イてあ ベトま参青式ルーる年 ンはし加龍にミ花水十 ト今た、楽はネと辺二 ーの月 と年 ∘鬼校 、 │ 怒少水シ万楽二 しで て五 川年辺ョ人校十 定回 の団のンのへ日 着目 河約楽飾会下へ しを 川五校り∟妻日 て迎 敷○をがに市〜 きえ が名活行よ鎌鬼

ま し地

美や動わり庭怒 し保拠れク地川 行で わク マ